



平成 26 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A S J  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 丸 山 治 昭  
(コード番号：2351 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 中 島 茂 喜  
(Tel:048-259-5111)

マザーズ上場後 10 年を経過した場合の市場選択における  
高い成長可能性に関する説明書面について

当社は、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第 3 1 6 条 1 項に基づく上場市場の選択に際して、マザーズにおける上場の継続を選択致しました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、同取引所に提出した「高い成長可能性に関する説明書面」は別添のとおりであります。

東京証券取引所の上場市場の選択制度に関する詳細につきましては、東京証券取引所ホームページ (<http://www.tse.or.jp/>) をご覧ください。

以 上

【添付資料】

高い成長可能性に関する説明書面 (平成 26 年 7 月 14 日)

高い成長可能性に関する説明書面  
(内国株券)

平成 26 年 7 月 14 日提出

株式会社東京証券取引所  
代表取締役社長 清田 瞭殿

株式会社 A S J  
代表取締役会長兼社長 丸山 治昭

当社は、有価証券上場規定第 316 条第 1 項に基づく上場市場の選択申請において、マザーズを上場市場として選択するにあたり、下記のとおり、当社が高い成長可能性を有していると判断いたします。

記

1. 高い成長可能性を有する事業（以下「成長事業」）の内容、ビジネスモデル

(1) 高い成長が見込まれるサービスについて

当社は、ネットサービス事業を主たる事業として展開しております。

その中で、中堅中小企業向けにグループウェア及び E C サイトの構築ツール等のアプリケーションを、インターネットを通じてご利用頂くサービス及び消費者向けにオンラインゲーム等といったインターネットを身近に感じて頂くサービス（以下「サーバサービス」）を提供しております。

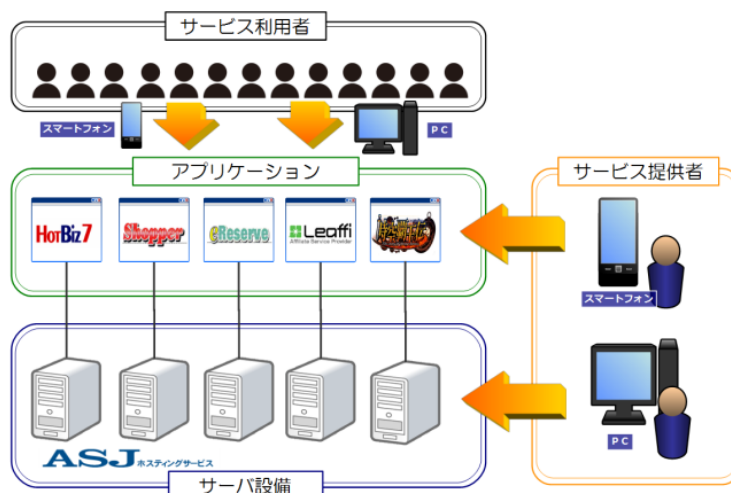
その他に、E コマース事業者向けに決済代行システムの提供（以下「決済代行サービス」といいます。）を提供しております。

当社では、これら 2 つのサービスをコアサービスと位置付けており、今後高い成長が見込まれるサービスであると考えております。

## (2) サービスの内容及びサービスモデルについて

### a. サーバサービスについて

当社が提供するサーバサービスは、「ASJ ホスティングサービス」を始め、その後クラウドグループウェア「HotBiz」やオンラインゲームポータルサイト「ASJ Games」等といった様々なサービスをインターネットサーバを通じて提供を行っております。

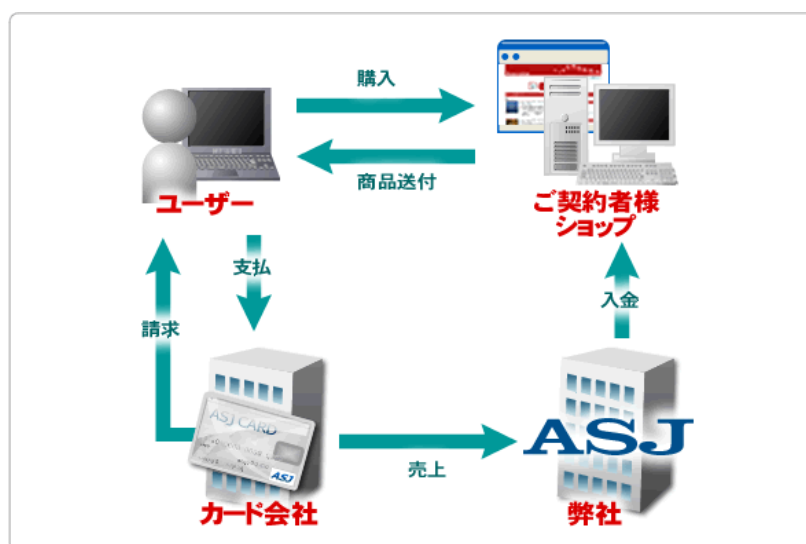


「ASJ ホスティングサービス」等の事業者様向けのサービスにつきましては、同様のシステムをご自身で構築するよりもハードウェア・ソフトウェアの初期投資費用及び維持費用の軽減が図れる上に最新型のシステムをセキュアな環境で利用できることに大きなメリットが存在いたします。

また、「ASJ Games」等の消費者向けのサービスにつきましては、当社が提供する様々なコンテンツについてインターネットを介してアクセスすることで気軽に様々な娯楽を楽しむことができるようになっております。

## b. 決済代行サービス

当社が提供する決済代行サービスは、決済代行システム「ASJ ペイメント」及び各商工会議所様向け「検定試験受付システム」の提供を行っております。



「ASJ ペイメント」においては、事業者様にとって導入が難しいインターネット上のクレジットカード決済及びコンビニ決済等の契約の簡略化及び決済システムを提供しております。

また、「検定試験受付システム」においては、各商工会議所様における簿記検定や販売士検定等といった試験の受付をインターネット上で行うとともに、受検票の発行から試験結果の発行までをワンストップソリューションで提供を行っております。

### (3) 高い成長が見込まれる事業の業績推移について

サーバサービス及び決済代行サービスの売上高の最近 3 年間の実績については次のとおりです。なお、セグメントの区分といたしましては、当社はネットサービス事業を主たる事業としており、サーバサービスにおいては、サービスセグメント上のインターネットサーバサービス及びデジタルコンテンツに、決済代行サービスはインターネットサーバサービスに該当いたします。

#### 【サーバサービス及び決済代行サービスの売上高】

(単位：百万円、比率は全社売上高に占める比率)

	2012/3	2013/3	2014/3
全社売上高	1,324	1,332	1,365
うちサーバサービス	822 (62.1%)	817 (61.3%)	814 (59.6%)
うち決済代行サービス	20 (1.5%)	38 (2.9%)	55 (4.0%)

## 2. 高い成長可能性を有すると判断した根拠

### (1) 当社を取り巻く市場環境

#### (a) サーバサービス事業

サーバサービスの一種である、クラウド市場は企業の業務基幹システムのクラウド化推進によって、拡大基調が継続しております。

2014 年に IDC Japan が公表した「国内パブリッククラウドサービス市場予測」によると、2013 年の国内クラウドサービス市場規模は 1,302 億円であり、2018 年には 3,850 億円規模まで拡大すると見込まれております。

## (b) 決済代行サービス

Eコマース市場の拡大を背景に、決済代行サービス市場規模は拡大の一途を辿っております。特に、売上金を各決済機関からまとめて収納し送金する収納代行型決済代行サービスの市場規模の拡大が続いております。

2014年にミック経済研究所が公表した「ECにおけるネット決済代行サービス市場の現状と展望 2014年版」によると、2013年の決済代行サービス市場規模は1,355億円であり、2018年には2,912億円規模まで拡大すると見込まれております。

## (2) 当社の競争優位性について

当社の競争優位事項は下記の3点にあると考えております。

### ① サーバ構築技術

当社は、1996年に「ASJホスティングサービス」を開始以来18年に亘り、データセンターを保有し、サーバ環境においても自社で構築を行っております。

このことにより、他社よりもハイスペックなサーバ環境を安価でかつアプリケーションに合わせたサーバ環境によるセキュアなサービスを提供できるという優位性をもって、多くの事業者様にご利用頂いております。

### ② アプリケーション開発技術

当社は、創業以来アプリケーションを多数提供しております。現在においてもクラウドグループウェア「HotBiz」の開発、コンシューマ向けサービスを含め、多数のアプリケーションの大半を自社内の人材によって開発を行っております。

自社内でアプリケーションの開発を行うことにより、技術的なノウハウが蓄積されることにより、新規技術の研究に活用することができ、更に、市場動向や時代に合わせたアプリケーションの開発をフレキシブルに行うことが可能となります。

また、アプリケーションの企画・開発・サービス提供の全てを当社が一貫して行うことにより、良質なサービスの提供を実現しております。

### ③ 高度なセキュリティ水準

当社は、VISA・Master Card・JCB・American Express・Discover の国際ペイメントブランド 5 社が共同で策定したクレジット業界におけるセキュリティ基準の中で最も厳格となる「PCI DSS Ver2.0 Level1」に完全準拠認証を受けております。同基準は非常に厳格であり、その中でも Level1 の認証においては PCI 国際競技会によって認定された調査機関 (QSV) の審査を経ることにより完全準拠の証明がなされるものであります。

当該認証を受けることにより、決済代行サービスを中心として、当社が提供するサービスが高度なセキュリティ水準を保っていることが証明されております。

「PCI DSS Ver2.0 Level1」に完全準拠している決済代行業者様は未だ数少なく、米国 Amazon.com Inc. も同様の基準に準拠しており、当社においても高レベルのセキュリティ水準であることが証明されております。

当該認証は、センシティブなデータとなるクレジットカード情報が大切に管理されていることの証明となり、競合他社と比較してもセキュアな環境におけるサービスの提供を実現しております。

### (3) 経営資源の状況

今後の高い成長を実現するためには、新規サービスの開発、当社の知名度の向上を含めた積極的なマーケティング活動及び優秀な人材確保を図る必要があると認識しております。これらの支出については、基本的に内部留保から支出する予定となっております。

## 3. 今後の事業方針・成長戦略

以下、3 項目を経営戦略の中心として捉え、高い成長の実現を図ります。

### ① 新たなサーバサービスの提供

当社では、現在複数のサーバサービスを提供しております。クラウド市場の拡大が続いていく中で、当社の主要ターゲットである中堅中小企業においてもサーバサービスの需要は高まっております。

その中で、未だクラウド環境の導入が進んでいない中堅中小企業様向けに、安価でかつ簡単にクラウド環境を導入するために必要となるサービスについて BaaS (Backend as a service) 及び新規クラウドサーバを含む複数の研究開発を進めており、2014 年中に開発を進め、順次新たなサービスの提供を予定しております。

それらの施策によって、既存顧客の満足度向上により、長期利用顧客を増加させるとともに、新規顧客を獲得することによる売上の拡大を目指してまいります。

## ② 決済代行サービスの拡充

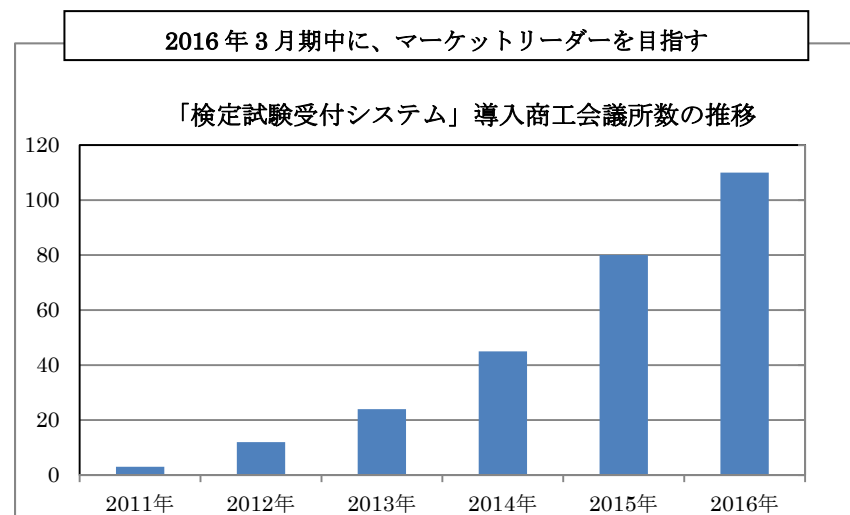
現在、注力している「決済代行サービス」においては、事業者様の流通金額の拡大に伴って売上高が増加するビジネスモデルとなっていることから、マーケティング施策のコンサルティング等の側面支援を行うことで各事業者様における流通金額を拡大することによる売上高の拡大を目指してまいります。

現時点において、営業人員の採用、広告宣伝活動の強化等による営業体制の強化、業界最安値の決済手数料によるサービスの提供を行っております。

今後においても、スマートフォン決済等による決済手段の拡大、集客支援等といったサービスの拡充等を行うことで、新規顧客を獲得し、更なる事業規模の拡大に向けて進めてまいります。

更に、各商工会議所様向けに提供している「検定試験受付システム」は、平成26年5月現在45か所の商工会議所様にご利用いただいております。

今後も、「検定試験受付システム」のシェア拡大に努め、2016年3月期中にマーケットリーダーになることを目指してまいります。



(2015年3月期及び2016年3月期については予想)

具体的には、各商工会議所様と連携の上、「検定試験受付システム」のみならず、川口商工会議所様主催の街バル「K★バル」の参加チケット購入の決済システムの提供等といった、地元の経済が活性化するような新たなソリューションを提供することによって、決済代行サービス規模の拡大を目指してまいります。



### ③ 新規事業領域の確立

当社は、基幹となるビジネス向けサーバサービスとともに育成事業としてオンラインゲーム及び電子書籍サービスを含む複数のコンシューマ向けサーバサービスを展開しております。

現時点において、コンシューマ向けサーバサービスについてもスマートフォン向けサービス及びゲームの提供を目的とした企画・研究段階のプロジェクトを複数進めており、採算性の検討を行いながら適切な投資を行い、年間1~2種類のサービスをリリースしてまいります。

①における「新たなサーバサービスの提供」及び当該施策によりサーバサービス規模の拡大を目指してまいります。

## 4. 会社全体及び成長事業に係る経営指標の推移等

### (1) 経営指標の推定に当たって前提とする事項

#### ① サーバサービス

「2. 高い成長可能性を有すると判断した根拠」において記載のとおり、クラウド市場は引き続き拡大基調が継続していくものと考えております。その反面、同市場へのライバル企業の参入等により、競争は激化していくものと考えております。

その中で、セキュアで安価なビジネス向けサーバサービスをリニューアルすることや新規にサービスをリリースすることにより、既存顧客の満足度を向上することによる顧客単価の上昇及び新規顧客の獲得による売上増を目指しております。

更に、コンシューマ向けサーバサービスをリリースすることによる売上増を目指してまいります。

#### ② 決済代行サービス

決済代行サービスにおいては、2013年度においては営業体制の強化を図り、新規事業者の獲得を目指してまいりました。2013年における流通金額は前年比38%増となる12億円となっております。

今後においては、営業体制の強化による新規獲得事業者数の増加及び新規決済代行ソリューションを提供することにより、2019年においては、年間流通金額400億円を目指してまいります。

### ③ その他事業

当社グループでは、その他Eコマース事業等を行っております。

これら事業においてもEコマース市場の拡大に伴い、一定水準の成長は保てるものと考えております。

以上の施策により、2019年3月期には売上高40億円（内訳：サーバサービス20.8億円、決済代行サービス13億円、その他事業6.2億円）、経常利益5億円を目指してまいります。なお、各種サービスの売上予測は次の通りです。当社の属するインターネット業界は事業環境が短期的に大きく変動する傾向にあることから、翌期以降の売り上げ予測においては具体的な数値が公表できる段階になりましたら開示させて頂く方針です。

（単位：百万円）

	2012/3 (実績)	2013/3 (実績)	2014/3 (実績)	2015/3 (見込)
サーバサービス	822	817	814	820
決済代行サービス	20	38	55	100
その他事業	481	476	496	512
売上合計	1,324	1,332	1,365	1,432

### (2) 経営指標の推移

上記(1)の前提で策定した経営指標は以下の通りです。

（単位：百万円）

	2012/3 (実績)	2013/3 (実績)	2014/3 (実績)	2015/3 (見込)
売上高	1,324	1,332	1,365	1,400 ～1,550
営業利益	71	40	4	0～△50
経常利益	74	48	8	0～△50
当期純利益	45	23	△95	0～△50

## 5. 総括

当社が展開しているサーバサービス及び決済代行サービスにおいては、企業のクラウド化の増大やEコマース市場の拡大により、今後マーケットニーズが大幅に増大すると予想されます。

特に、決済代行サービスにおいては、同業他社と比較して高度なセキュリティ環境で提供しているサービスとして評価を受けております。

当社では、マーケットニーズに対応した新たなサービスやソリューションを継続して提供することにより、顧客数の獲得及び業容を拡大してまいりたいと考えております。

更に、育成事業として展開をしているコンシューマ向けサーバサービスにおいても、スマートフォン向けサービス及びゲームを含む様々なサービスを展開していくことで、知名度の向上並びに収益の拡大を見込んでおります。

以上から、当社を取り巻く市場環境や成長戦略、合理的な前提条件を基に作成された事業計画等を総合的に勘案し、当社は高い成長可能性を有していると判断しております。

以上